

脂肪肝肝 安易な放置禁物 がんにつながらる恐れも

平均寿命の延長に伴って、命を落としています。今では2人に1人ががん。ただ、肝臓がんの大半を占めていると言われている。国内の死者数で、その90%が肝炎ウイルスが原因で、肝臓がん(転移性を含まず)は悪性腫瘍において肺、胃がなければ自身に關係のない

健康マイン

愛媛県医師会

に次ぐ第3位、特に県内で、特に思いがちです。ですが最近、肝臓がんで亡くなる方が近、これまで原因不明とされている結果となつています。肝臓がんが新たに見つかる4人に1人は進行がんのため、かたくなってしまいました。

治療困難で、肝硬変も合わせ、飽食時代と言われている慢性肝疾患でみると、全世の中、ご自身あるいはご家族が健診で脂肪肝と言

慢性肝疾患

松山市・大手町クリニック内科消化器内科 松原 寛

われた方は少なくないの計算になります。ではないでしょうか？(健診を受けた方の実に10%にも及ぶことが知られています)

以前であれば、脂肪肝は改善することが望ましいとしながらも積極的な対処は特示されず経過をみましよう説明されることが多かったと思ひます。(もしかすると現在も?)

しかしながら、その一部に脂肪肝炎と呼ばれる肝硬変や肝臓がんを発生する状態が含まれることが分かってきました。人口の2% (米国では3%~5%)の有病率と言われている慢性肝疾患の治療に非常に造詣の深い先生は多数いらっしゃいますが、医学も日進月歩、ウイルス性肝炎などはこの数年で標準とされる治療法すら何度も変わってきていますので、病状に依じた治療法の選択が正しくなされるが大変重要です。

治療法が確定した後は、かかりつけ医の先生の元で治療を進めていただくことを基本としていますので、遠慮なさることなく、日頃お世話になっている先生に紹介いただくことをご相談ください。

最後に、健診は今回の肝臓に限らず、高血圧症や糖尿病、高脂血症や腎障害といった慢性病を見つける機会です。これらの病気が日頃は症状を自覚することはなく、進行して大病に至ることが多いため、自身の健康を過信せず異常を言われましたら放置しないで必ず一度は医療機関を受診ください。

第2火曜日に掲載